

バー人材センターが移動するが、2階の会議室はこれまでどおり利用できるのか。

答 弁 建物の東側にある

永和出張所2階の現在利用していない診察室、処置室、待合室、準備室など床面積約100㎡を貸し出す。永和地区公民館の会議室はこれまでどおり使用できる。

○放課後子ども教室廃止の影響は

質 問 放課後子ども教室を利用していた子どもが、スムーズに児童クラブの事業に移行できたのか。また、その子どもたちが放課後どのような生活をするのか確認がされているのか。

答 弁 現時点で、放課後子ども教室に参加していた1年から5年生の児童の中で、放課後児童クラブに申し込みを済ませた児童は約3割。残りの7割の児童のうち約半数が児童クラブに申し込みができる要件の児童。

放課後児童クラブに加入する資格のない児童は、家になたか保護者がいる家庭であ

り、帰宅後、児童館で遊んだり、児童館の催すイベント等に参加してもらう。

○出産祝い金の廃止の理由は

質 問 少子化対策出産祝い金が平成26年度で終了するが、なぜか。

答 弁 第3子以降の出産

に際して15万円を助成しているが、支援金の支給という形では少子化対策全般への効果がなかなか感じられない。今後は、必要な人に必要な福祉サービスを提供するといったスタンスで事業展開をしていきたい。

○コミュニティFMを市内どこでも聞けるように

質 問 コミュニティFM

は、災害時に緊急情報や支援情報を知らせる点で、今後、佐織地区の戸別受信機にかわるものとして位置づけられている。しかし、海部津島地域の中で入りづらいところがある。室内では入りづらい。災害時にしっかりと入るようコミュニティFMに対応をもとめては。

答 弁 愛西市以外の他市

町も、受信がしにくいというところもあると聞いている。コミュニティFMへ調査をせよと申し入れた。また、今後の改善策についても構成市町村に対して示すよう、機会を設けて伝えたい。



賛成

事務事業の見直しでは、NPO関係事業、団領道路解消事業、放課後子ども教室などの事業検証を行い、目的を達成した事業の廃止や類似事業の統合で一層予算削減に努められている。一方、新規事業では、がん検診受診率向上事業や土曜日の教室活動推進事業、児童クラブ施設整備を行い対象を6年生まで拡大するなど取り組んでいる。

また、依存財源が多い当市において、安定的な自主財源を目指した企業誘致活動にも力を入れている。

市長が言つとおり、前例や慣例にとらわれることなく、選択と集中の視点に基づき、

事務事業を評価して見直しや重点化を図ることは大切なことだ。将来を見据えて、効率的な財政運営を心がけることを期待する。

反対

26年度の予算案は、総額248億4千200万円で、前年度比18.7%増と市始まって以来の最大予算だ。その中心は、統合庁舎建設の関連予算が約35億円で総予算額を大きく押し上げた。

多くの市民が消費税値上げで大変な中、市は早々と上下水道料の値上げを決め、学童保育料などが値上げされた。市は、国の悪政から市民を守る必要があるのに、その動きは一切感じられない。

児童クラブを6年生まで実施することは評価するが、放課後子ども教室の廃止や小学校のキャンプの補助カットなどは、子どもたちの楽しみや非日常の中での勉強を奪うものだ。

医療費助成では、愛知県下54市町村の中で、新年度には愛西市と江南市だけが小学校卒業まで取り残され、県下最低となった。新年度途中か

らでも中学校卒業まで、さらに、高校卒業までの医療費助成を行い、近隣市町村との違いをはっきりと示すべきだ。また、地震による河川堤防の液状化のおそれを認識し、民間も含めた一時避難所を拡充すべきだ。

国民健康保険特別会計 予算

当初予算額 事業勘定

77億1千517万8千円

後期高齢者医療特別会計 予算

当初予算額 6億9千554万円

介護保険特別会計 予算

当初予算額 保険事業勘定 42億8千430万8千円

サービス事業勘定 4千698万8千円

農業集落排水事業等特別会計 予算

当初予算額 9億8千421万4千円